

ドラッグラショナル研究開発センター

研究プロジェクト名

プロジェクト1:

薬剤師支援システムの構築と医薬品の適正使用研究

プロジェクト2:

退行期疾患治療における天然薬物素材の評価・開発と精密化学を基盤とした創薬研究

プロジェクト3:

生活習慣病治療を指向した新規標的分子および医薬品の探索と作用機序研究

研究代表者:

総括責任者 薬学研究科 教授 田口武夫

プロジェクト1 責任者 薬学研究科 教授 土橋 朗

プロジェクト2 責任者 薬学研究科 教授 竹谷孝一

プロジェクト3 責任者 薬学研究科 教授 別府正敏

研究採択期間:

平成18年度～平成22年度

研究概要

共同研究プロジェクトの研究組織である東京薬科大学・ドラッグラショナル研究開発センターは、平成8年度に文部科学省により創設された「私立大学学術研究高度化推進事業（ハイテク・リサーチ・センター整備事業）」の初年度に採択されました。同センター内に3つの研究開発プロジェクトを設置し、大学院薬学研究科を中核として、平成8年度から平成17年度まで2期10年間に亘り、医薬品について多方面から総合的に研究し、大学の研究・教育を高度化させ、その成果を社会に還元して国民の健康と福祉に貢献することを目標としてきました。

平成8年度からスタートした第1期5年間の3つの研究開発プロジェクトは、第2期（平成13年度から平成17年度まで）に継続されましたが、3プロジェクトそれぞれで着実に研究成果が達成され、更なる今後の発展への基盤を確立しました。そこで引き続き平成18年度以降も本学は本センターを維持し、センター内に新たに3つの研究開発プロジェクト

を立ち上げ、これまでの実績のさらなる発展と社会のニーズに即した新規で独創的かつ有用性の高い薬学研究を推進して、本学の研究と教育のレベル向上に努めると同時に、その成果を通して社会に貢献していくことを目標としています。（平成 20 年度より、本文部科学省事業は「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に変更）